

## I 第40週の発生動向 (2016/10/3~2016/10/9)

- 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内で**注意報**が発令されました。
- RSウイルス感染症は、第39週から2週続けて患者報告数が増加しました。今年は、昨年より報告数が多い状態が続いています。昨年は、11月に報告数がピークとなりましたので、今後の発生動向に十分注意が必要です。
- ヘルパンギーナは、第36週をピークに患者報告数が減少していましたが、第39週から2週続けて報告数が増加しました。
- マイコプラズマ肺炎は、八戸保健所、むつ保健所管内とも、患者報告数が減少しましたが、むつ保健所管内では、報告数が多い状態が続いています。

## II 第40週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科																
インフルエンザ															-1	
小児科	RSウイルス感染症	10	1.25	17	1.89	16	1.60	11	2.20	13	2.17	9	2.25	76	1.81	16
	咽頭結膜熱	3	0.38											3	0.07	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.00	11	1.22	31	3.10	1	0.20	5	0.83	3	0.75	59	1.40	5
	感染性胃腸炎	41	5.13	15	1.67	14	1.40	10	2.00	2	0.33	5	1.25	87	2.07	17
	水痘											1	0.25	1	0.02	-3
	手足口病	3	0.38	6	0.67	4	0.40					7	1.75	20	0.48	1
	伝染性紅斑	3	0.38			1	0.10			1	0.17			5	0.12	-2
	突発性発しん	8	1.00	2	0.22	1	0.10	1	0.20	2	0.33	2	0.50	16	0.38	5
	百日咳			1	0.11									1	0.02	1
	ヘルパンギーナ	20	2.50	7	0.78	25	2.50	9	1.80	11	1.83	11	2.75	83	1.98	9
流行性耳下腺炎	5	0.63					1	0.20	3	0.50	14	3.50	23	0.55	13	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	1	0.50			1	0.50			1	0.50			3	0.27	-2
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00					8	8.00	9	1.50	-5
	無菌性髄膜炎															-1
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

# 感染症の窓

## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (五類定点把握疾患) 第3回

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌によって引き起こされる感染症です。いずれの年齢でも起こり得ますが、昨年の青森県内の患者報告数は、6歳以下が全体の3分の2を占めました。

潜伏期間は2~5日で、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。

全国的には、冬と春から初夏に多発するとされていますが、2016年の青森県内では、大きなピークを形成することなく増減を繰り返しており、第39週から患者報告数の増加が続いています。

昨年も、第40週(9/28~10/4)以降、増加傾向となりましたので、今後の**発生動向に注意**が必要です(図)。

この疾患は通常、患者との接触を介して伝播するため、家庭、学校などの集団での感染も多いとされています。**予防**としては、患者との濃厚接触を避けることが重要で、**うがい、手洗い**などの一般的な予防法も大切です。

→詳しくはこちらをご覧ください→[国立感染症研究所 HP](#)

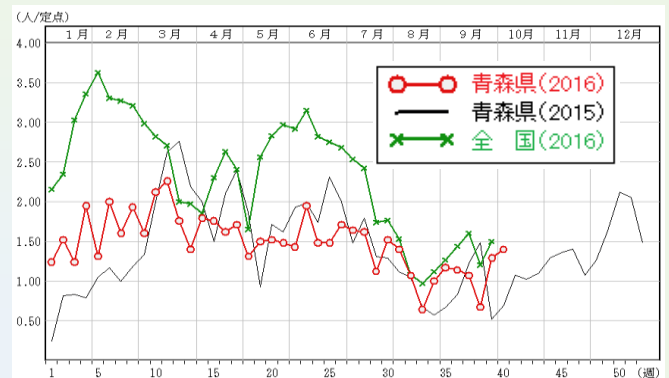


図 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 定点当たり報告数 (2016年青森県 2015年青森県 2016年全国)

### Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：弘前2人、八戸3人 (2016年計:230人)
- ・細菌性赤痢(三類全数把握疾患)：東地方+青森市1人 (2016年計: 1人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：むつ1人 (2016年計: 90人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(五類全数把握疾患)：八戸1人 (2016年計: 11人)

### Ⅳ 病原体検出情報 ※ ( ) 内は、検査材料及び検体採取日です。

- 麻しん疑い患者(咽頭ぬぐい液、9/16)・・・HHV7：弘前1人、エコーウイルス9型：上十三1人
- 無菌性髄膜炎患者(髄液、9/14)・・・エコーウイルス6型：八戸1人
- 下気道炎患者(咽頭ぬぐい液、9/15)・・・ヒトライノウイルスC：八戸1人
- 熱性けいれん患者(咽頭ぬぐい液、9/15)・・・HHV6B：弘前1人
- 下気道炎患者(鼻汁、9/9)・・・マイコプラズマ(*M. pneumoniae*)：八戸1人
- 突発性発疹患者(咽頭ぬぐい液、9/13)・・・エコーウイルス9型及びヒトライノウイルスA：五所川原1人

### Ⅴ 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2016年第37週～2016年第40週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
37	H28.9.12 ~ H28.9.18		レジオネラ症1人 梅毒1人				アメーバ赤痢1人
38	H28.9.19 ~ H28.9.25		梅毒1人		レジオネラ症1人		
39	H28.9.26 ~ H28.10.2			梅毒1人			
40	H28.10.3 ~ H28.10.9	細菌性赤痢1人		カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			腸管出血性大腸菌 感染症1人

### Ⅵ 結核(二類全数把握疾患) (2016年第37週～2016年第40週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
37	H28.9.12 ~ H28.9.18	2	1	3		2	
38	H28.9.19 ~ H28.9.25		2	1	1		
39	H28.9.26 ~ H28.10.2	4	1	1		2	
40	H28.10.3 ~ H28.10.9		2	3			

### Ⅶ 全数把握疾患発生状況 (全国-青森県) (注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

#### 全国 (2016年第1週～第39週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	17966	8	97	2914	41	14	304	225	14	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	7	3	9	46	1	11	97	280	178	4

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	2	4	40	6	1121	53	869	208	1106	611

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	11	135	384	1077	52	238	35	1951	224	3284

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	96	97	44	107	145	30

青森県 (2016年第1週～第40週累計)

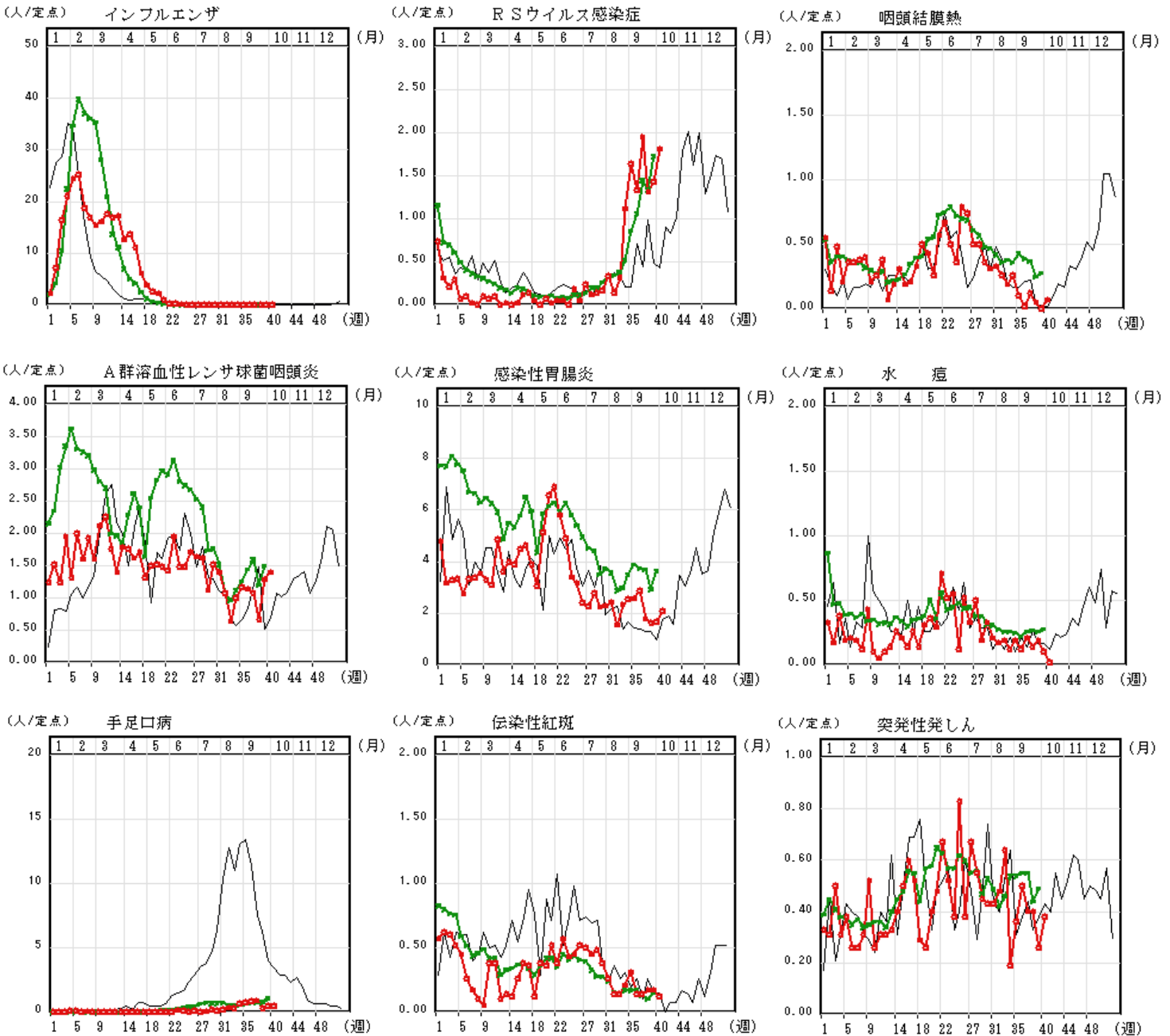
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
累積報告数	230	1	90	5	3	1	5	5	3	11

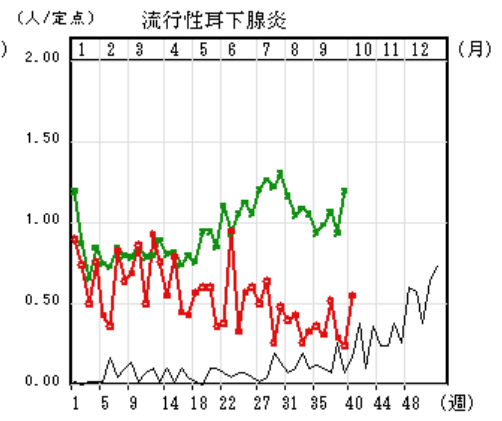
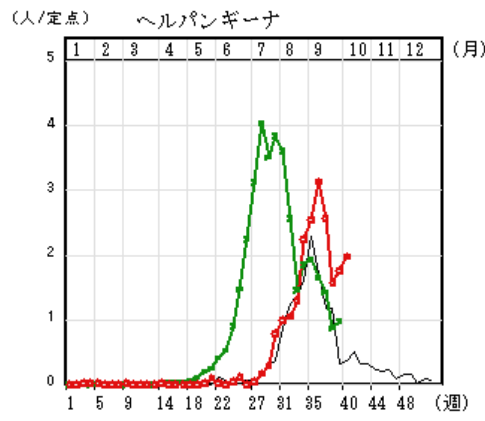
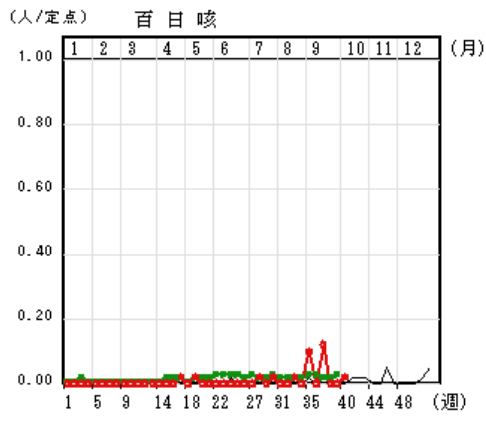
  

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	1	3	3	2	7	3	15

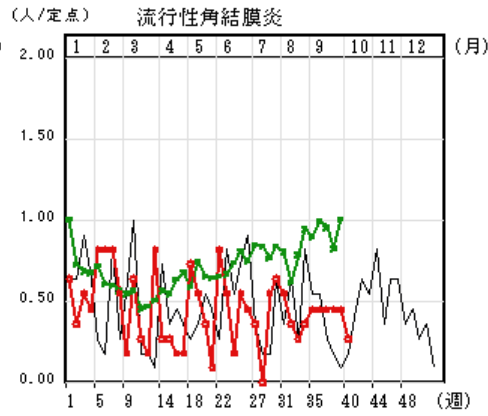
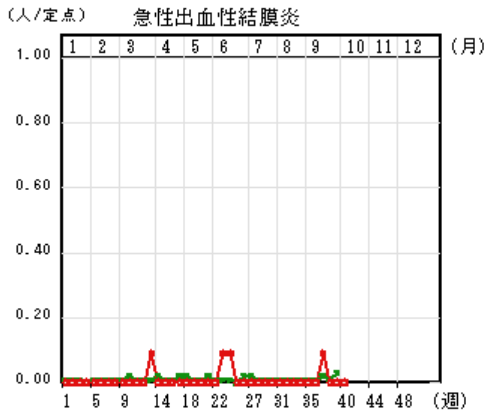
Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第40週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、×—×は2016年全国

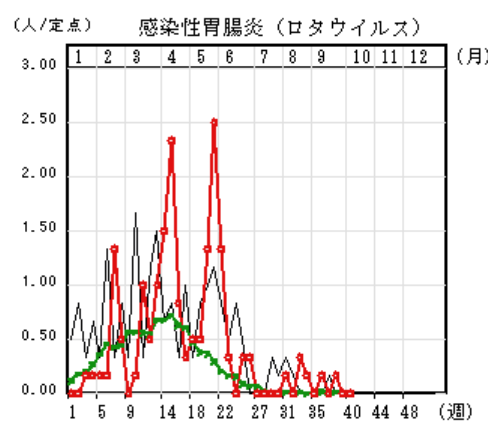
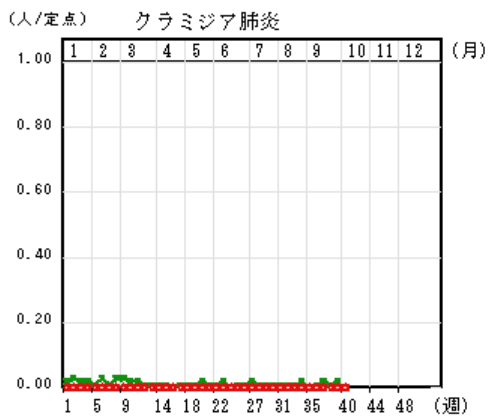
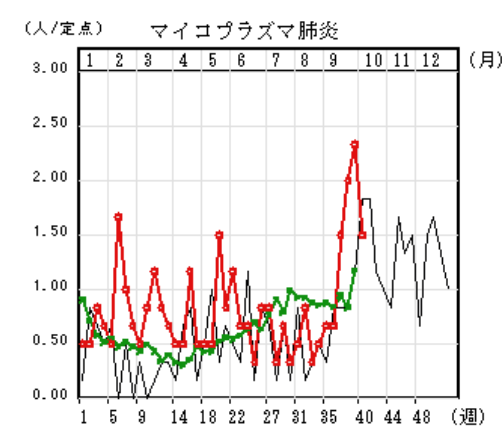
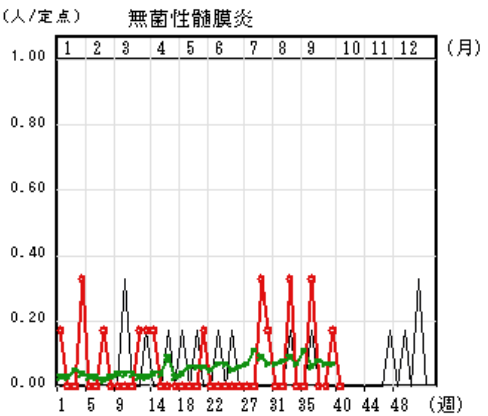
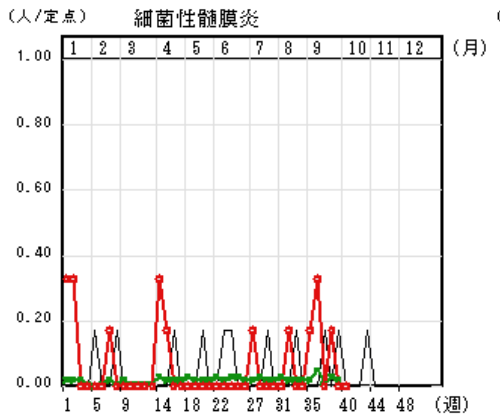




IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第40週、ただし全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第40週、ただし全国は前週)



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第40週  
報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	0	0	8
	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	0	0	172
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	0	0	5
	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	0	0	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	0	0	16
	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	0	0	308